



よしわらいわとかぐらほぞんかい
吉原岩戸神楽保存会

概要

団体名	吉原岩戸神楽保存会
代表者	佐藤 郁雄
構成	19名
推薦団体	南小国町
主な活動地	南小国町

本賞

吉原岩戸神楽保存会は、永年にわたり、国の無形民俗文化財に選定されている「吉原岩戸神楽」の保存継承に取り組まれている団体です。

吉原岩戸神楽は、南小国町の吉原集落において、地域の安全、無病息災、五穀豊穰を祈願して奉納されている伝統芸能であり、当保存会の努力により、百二十年以上にわたり当時と変わらぬ姿で継承されています。

当保存会は、年間を通して、吉原神社、小国両神社神楽奉納をはじめ、その他多くのイベントにおいて神楽の披露を行い、神楽の普及発展に尽力してこられました。

また、地元の小学生や地域の若者に神楽の指導を行うなど、後継者の育成にも積極的に取り組まれています。

さらに、平成二十七年には、イタリアで開催されたミラノ万博において、神楽を披露するなど、海外に向けた魅力発信も行われています。

このように、当保存会は、「吉原岩戸神楽」の保存継承を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和三十三年 伊勢神宮、東京大神宮、明治神宮、靖

国神社、出雲大社等で神楽奉納

昭和三十五年 吉原岩戸神楽が熊本県重要無形民俗

文化財に指定

昭和五十一年 吉原岩戸神楽が国無形民俗文化財と

して選択

昭和五十七年 ラタナコーシン二百年祭にて神楽を

披露

平成二十五年 吉原岩戸神楽が世界農業遺産に認定

された「阿蘇の「伝えたい阿蘇の

農業遺産資源」に登録

平成二十七年 イタリア・ミラノ万博出演